

私のあゆみをご覧ください

イタリアンレストランのオーナーシェフでした

立川駅南口にあった大衆居酒屋「ひげの銀月」の四代目として生まれました。25歳からはイタリアンレストランを経営。雑誌にも紹介されました。



シェフ時代の私

東日本大震災のボランティアで人生が一変

ニュースをみるたび、被災地で困っている人に少しでも役に立てればと、宮城県石巻でのボランティアに参加。その後、各地の災害支援にも駆けつけました。



伊豆大島土砂災害ボランティア(2013年)

みんなが幸せになるために政治を変える

日本共産党に入党し、要請を受けて市議会議員に。知り合いが多い地元育ちの利点を生かし、地域の生の声を市政に届けていきます。



市議会での一般質問

コロナや物価高騰からくらしをまもる ひきつづき5名の市議団を



(左から)若木さなえ、中町さとし、永元きょうこ、上條彰一、浅川修一の各氏

あなたのお力をお貸しください

●宣伝活動にご協力ください

ポスターの掲示、ビラやリーフレットの配布活動にご協力ください。街頭演説への手ぶりも励みになります。SNSでの発信・拡散もぜひお願いします。

●お友だちをご紹介ください

つながりを生かして、お友だちやお知り合いに支持を広げてください。紹介していただける方がおられましたら、ぜひお知らせください。

●募金もおねがいします

企業・団体献金、政党助成金に依存しない日本共産党を支えてください。募金は郵便振替やネット(東京都委員会HPから)でも受け付けています。

中町さとし事務所

- 羽衣町2-29-11
コーポヤマザキ101
- 電話 042-526-3252
- メールアドレス

nakamachisatoshi@gmail.com

活動地域

錦町、羽衣町、富士見町1・2丁目および3丁目1~8、4丁目1~19、5丁目1~22

子育て・商店の声とだけ
政治を動かし2期8年



立川市議会議員(2期)

中町さとし

なかまち 聡

プロフィール ●立川市生まれ●三小、三中、西東京調理師学校卒●羽衣町在住●立川駅南口の商店街での飲食店経営を経て市議に●立川市議2期(総務委員長・議会運営委員などを歴任)●趣味は料理、写真、スケートボード、登山、自転車、バスケットボールから、アクアリウム、食べ歩き、家庭菜園まで。井戸端会議も大好きです



<http://yuiuidori.net/jcptachikawa/>



日本共産党

立川民報

日本共産党立川市委員会が中町さとしさんの政策と見解を発表しました
2022年5・6月号外 発行 立川民報社/立川市上砂町3-20-1

中町さとし



市民の皆さんに市政に送っていただいてから2期8年。自らの飲食店経営の経験をふまえ、商店や中小業者の皆さんの声を届け続けてきました。

コロナ禍に際して、商店街の装飾灯の電気代全額補助や、市独自の家賃補助などを前に進めることができました。また、2児の子育てをする保護者として、市内小中学校に通う子どもたち、パパさん、ママさんの声をいただきながら、公園の遊具充実、すべての学習館へのWi-Fi設置、ごみ分別アプリなど、「かゆい所に手が届く政策」を実現できました。若者や真ん中世代とスケートボードパーク充実を求める中で、アトラクションの増設ができました。

今後も、市民のみなさんとご一緒に、斬新で画期的なアイデアを提案し、共に希望ある政治に変えていきます。引き続き市議会へ送り出してください。



だれもが笑顔あふれる立川に

中町さとしがやってきたこと

実績1 商店街装飾灯の電気代全額補助

「電気代だけで商店会の会費がなくなってしまう」という声を議会でとりあげ、実現しました。会費を商店街の広告や宣伝に使えるようになり、商店街を元気づけることができました。

実績2 地域学習館へのWi-Fi設置

コロナ禍で集まることが難しいなか、オンライン講座を開催できる環境を市が担保すべきだと議会で訴え、6館すべてにWi-Fiが設置されることになりました。

実績3 中学校の給食時間が延長へ

体育の授業の後など食事時間がわずか8分しかないというお母さん方からの訴えには、元料理人として衝撃を受けました。教育委員会に調査依頼し、市議会でも質問。延長の方向が打ち出されました。

実績4 健康遊具の増設

公園に「いつでも誰でも気軽にできる健康遊具」を次々と増設、マップも完成。既存の遊具の補修整備も進めています。

中町さとしがこれからやること

公約1 いまこそ商店街リニューアル助成制度

魅力ある商店づくりを支援するため「店舗等の改修や備品の購入」を行うことに対し、その費用の2分の1を助成する制度です。改修工事や備品購入は立川市内に限るという条件をつけ、市内の経済を回し活性化させます。

公約2 若者が「集える」「熱中できる」場づくり

政治は「若者の声を拾うのが難しい」と言われますが、それなら若者が集まりやすい場を政治の側が作ればよい。「スケートボードやBMX、3x3 バスケなどを拡充・増設」「競輪場でのeスポーツ大会」など、若者たちのアイデアを取り入れ若者が熱中できる場をつくります。

公約3 西国立駅に臨時改札口設置を

朝の通勤ラッシュ時、駅近くの踏切では、大変混雑していて危険が伴っています。「危険解消」かつ「ストレスフリー」な通勤・通学のために「駅西側に臨時改札口」の実現をめざします。